地域での活動

防災・防犯・絆づくり

第3回定例区議会閉会（10月15日）以降、地域での活動として、

＜防災活動＞

- 防火防災協会支部役員会出席／秋の火災予防運動啓発活動（町会役員として）
- 近隣福祉施設の防災訓練（町会役員として）
- 震災救援所訓練（運営連絡会の一員として）

＜防犯活動＞

- 年末夜警パトロール（町会役員として）

＜絆づくり＞

- シニア交流ダーツ大会（スタッフとして）
- 隣接町会・自治会主催の餅つき大会（スタッフ及びお手伝いとして）

等に参加しました。

地域コミュニティに求められるものは、日々の、そしていざという時の**安全・安心をいかに高めるか**、そしてそのために**地縁に基づく絆づくり**をいかに行っていくかではないかと思います。

日々の活動を通じ、区政に何を反映させていくべきか、また、より良い地域社会づくりに必要な仕組みはどういったものかを、常に考えていきたいと思います。

読み聞かせ

12月10日（火）、区立小学校にて「読み聞かせ」を行いました。今回の担当は4年生で、私にとっては初めての子供達。少し難しいかな、と思いましたが、**「アナグラム（単語または文の中の文字を入れ替えることによって、全く別の意味にさせること）」を楽しむ絵本**を選びました。

今回の「読み聞かせ」で使用した本

どのような本を読むか、毎回頭を悩ませますが、子供達の様子を知ることができる貴重な機会となっています。

今年度で11年間に及んだ小学校PTA生活が終わるため、これまでのような関わり方は出来なくなりますが、私自身が関わる他の機会（「小学校放課後子ども教室」等）も視野に入れて、**現場での活動と、そこでの気付きの区政への反映について、今後も取組んでいきたい**と思います。

次回の定例区議会（令和2年第1回定例会）は、2月12日（水）開会予定です。

区政に関する意見交換会開催　（入場無料）

- 第81回　2月19日（水）　19:00～20:30
  高井戸地域区民センター（高井戸東3-7-5）　第九集会室
- 第82回　2月24日（月・休）　13:30～15:00
  久我山会館（久我山3-23-20）　第一・第二集会室

意見交換会の内容

□　令和2年度　杉並区予算（案）　について

令和2年第1回定例区議会（2月～3月）は、令和2年度杉並区予算（案）の審議が中心になります。
予算委員会の前に、令和2年度杉並区予算（案）についてご説明し、皆様のご意見をお伺いしたいと思っております。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。
FAX：03-3247-8660　もしくは　E-Mail：ikuma@gakushikai. jp

杉並区議会議員（無所属）

岩田いくま　区政報告

第65号（令和2年新年号）

発行：岩田いくま　〒168-0082　杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX；03-3247-8660　E-Mail；ikuma@gakushikai.jp
HP；http://ikuma-iwata.net　（←毎日更新しています！）

岩田いくま（生真）略歴：昭和46年（1971年）生。都立西高、東京大学卒。
外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。
令和元年5月より5期目。
趣味：バレーボール（大学時代は母校で部活動のコーチを行う）、読書。
家族：妻、長男（16歳）、長女（14歳）、次男（12歳）。

P.1　杉並区の財政について（長期展望から見た平成20年代）
P.2　議会での活動（総務財政委員会）について
P.3　調査活動について
P.4　地域での活動について
P.4　意見交換会のご案内

杉並区の財政を考える

～　長期展望から見た平成20年代の杉並区財政　～

昨年5月、「令和」の時代が始まりました。今後の区政を長期的に展望した場合、杉並区においても
◆　**少子高齢化のさらなる進展（表1）**　　◆　**区立施設の老朽化対策（表2）**
から、これまで以上に財政需要が高まることが、予見されています。

（表1）杉並区の世代別人口構成比率

	２０１８年		２０６５年
年少人口比率	１０．３％	⇒	９．１％
高齢者人口比率	２１．０％	⇒	３０．９％

＊『杉並区人口ビジョン』（平成31年2月）から抜粋
＊2065年は推計

（表2）区立施設の改築・改修経費（年額）

直近１０年平均		今後３０年平均
６８．７億円	⇒	１１５．１億円

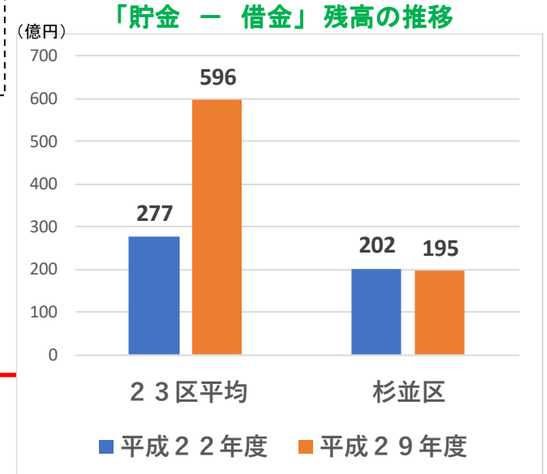
＊『施設白書2018』（平成30年1月）及び『杉並区区立施設再編整備計画』（平成31年2月）から抜粋
＊今後30年平均は試算

一方で、**現区長が就任した平成22年度**以降、区財政における歳入は好調であった**（表3）**にも関わらず、**将来への備えは十分とはいえません（図1）**。

（表3）杉並区の主な歳入（収入）の推移

	平成２２年度		平成２９年度
特別区税	５７７億円	⇒	６３０億円
特別区財政交付金	３２５億円	⇒	３８２億円
合計	**９０２億円**	⇒	**１，０１２億円**

（図1）23区と杉並区の「貯金　－　借金」残高の推移



現区長となって以降の区財政は、確かに悪化はしていないかもしれません。しかし、長期的視野に立てば、将来の厳しい財政状況に対する備えが不十分であると指摘せざるを得ません。
「未来への責任」をしっかりと自覚し、現在の福祉向上だけでなく**将来世代の福祉も十分に考慮した区政経営を行う必要がある**と考えます。

議会での活動

総務財政委員会

11月25日（月）に総務財政委員会・区民生活委員会連合審査会、29日（金）に総務財政委員会が開催され、6本の議案審査と1件の陳情審査、4件の報告聴取を行いました。今回は、議案のうち主に**補正予算（議案第74号）に盛り込まれた内容（抜粋）**、及び、報告のうち「**新基本構想の策定に向けた取組**」を取り上げます。

【補助金返還請求（補正予算）】

区政報告前号（第64号）でも取り上げた「区内商店会（西荻窪地域）における補助金不正受給」に関して、

- 杉並区が都に返還した全額（都補助金＋違約加算金）
- 杉並区費から支出した補助金のうち、不正行為により水増しされた金額及びその法定利息

について、**当該商店会に返還を請求**することとなりました。

あわせて、区にも一部不十分な点が認められたことから、**区長及び担当副区長の給料を減額**することになりました（1ヶ月間、1割減額。議案第70号）。

【補助金のスキーム】

区議会では、都への返還金に区民の税金が使われることのないよう、8月の臨時議会で**付帯決議を可決**しております。今回の補正予算で、この付帯決議が守られたことは、評価しております。

なお、国や都には、補助金に関する包括的な規定がありますが（国：補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律、都：東京都補助金等交付規則）、杉並区にはこうした規定がないため、審議に際しては、**補助金適正化条例の制定を含め、今後の補助金制度のあり方検討をしっかり行うよう**求めました。

【危険な空き家対策（補正予算）】

令和元年9月、区議会に「杉並区空き家実態調査」が報告されました。当報告によれば、区内では

- 空き家の件数（推定値）：748件
- 著しく管理不全な空き家の件数：12件

となっております。

そうした中、以前から課題となっていた高円寺北2丁目の危険な空き家について、**杉並区では初となる行政代執行による除却（解体・撤去）**のための予算が計上されました。

私自身、過去に「所有者が特定できない空き家対策」について質疑を行いました。

また、都市環境委員会の委員長であった平成27年度には、新潟市及び高崎市に、空き家対策をテーマとして委員会視察を行いました。

今回の案件に対しては、私自身も現地に足を運び、状況を確認しましたが、建物が傾いて非常に危険な状態であり、また、多量のごみにより衛生上も有害な状態でした。

審議に際しては、**まずは地域の安全・安心に資するよう着実に除却を進め、所有者からの費用の徴収についてもしっかり対応するよう**求めました。

【新基本構想の策定に向けた取組（報告聴取）】

現在の「杉並区基本構想（区政運営の指針となる、区の最上位の計画）」は、平成24年度から令和3年度までの期間設定（10年間）となっています。終期が近づいてきていることから、**令和4年度を始期とする新たな基本構想を検討**するため、令和2年第1回定例区議会に「基本構想審議会条例」（案）を提出予定である旨、報告されました。

質疑において、新基本構想の期間設定を確認したところ、**「令和14年度が区制施行100周年**であるため、一定の弾力性をもたせ、概ね10年と考えている」との答弁を得ました。

平成24年第1回定例会（本会議）における、「基本構想に関する特別委員会」の委員長報告（現基本構想策定時、私が特別委員会の委員長でした）

調査活動

インフラ維持管理・老朽化対策総合展

12月4日（水）、インフラ維持管理・老朽化対策総合展である「社会インフラテック2019」（於：東京ビッグサイト）に参加しました。杉並区でも、**道路・橋梁等インフラの老朽化にどう適切に対応していくか**は、区立施設等建物の老朽化対策（P.1参照）とともに、安全・安心を確保するうえで非常に重要な課題です。セミナーは、

- インフラメンテナンス国民会議地方フォーラム　各地方フォーラムの取り組み紹介
- インフラ老朽化点検の低コスト化と作業効率向上

を受講。また、同時開催されていた「気候変動・災害対策Biz2019」も参加しました。

セミナー（各地方フォーラムの取り組み）では、**学校教育を通じて生徒の社会貢献意識や職業倫理を醸成させる取組み**（ICTを活用した高校生によるインフラ点検）等が紹介され、参考になりました。

また、出展者セミナーやブースでの説明を聞くなかで、改めて技術の進展を感じ、自治体業務においても**いかに費用対効果を勘案したうえで有効に活用していくか**について、様々な示唆を得る機会となりました。

学校改築検討懇談会

11月1日（金）、「第10回　区立富士見丘小・中学校改築検討懇談会」を傍聴しました。

今回は、基本設計（素案）についての検討。これまでの議論を反映した具体的な教室配置も示されました。

なお、道路を挟んで隣接した敷地に一体的に整備される利点を活かすため、**「小・中学校一体のラーニングセンター（学校図書館）」が設置**されます。本に囲まれた2層吹抜の設計となっており、新校のシンボルとなることが期待されます。

昨年度の改築基本計画についての議論、今年度の基本設計についての議論も、大詰めとなってきました。

学校は、地域の共有財産です。議論の経過を把握し、今後も必要に応じて議会で質問を行う(*1)ためにも、可能な限り懇談会を傍聴したいと思います。

(*1)昨年度は、基本計画に関する懇談会の傍聴を重ねる中で、議会（本会議）にて質問を行いました（右写真）。

小学校連合音楽会

11月27日（水）、杉並公会堂で行われた「第71回杉並区立小学校連合音楽会」を鑑賞しました。午前の部には、8校が参加。各校が順次、合唱及び合奏を発表しました。

10月～12月にかけて、小学校連合音楽会だけでなく、

- 中学校の文化祭
- 地域NPOの文化祭

等も鑑賞しました。合唱・合奏に限りませんが、**子供達が力をあわせてひとつのことを成し遂げる経験**は、やはり貴重なものだと鑑賞するたびに実感します。連合音楽会では、各学校の「合唱から合奏への隊列移動の迅速さ」等も、目をみはるものがありました。

1，000人収容の大ホールで大勢を前に発表する経験、また、多くの学校が集まることで他校の様子を知ることが出来るこうした機会は、**区立小学校だからこそ出来ること**として、今後も続けてほしいと思います。